雀

原民喜

青空文庫

酔ぱらって雀を憶ひ出した二人は新宿まで出掛けた。屋台店の皿に赤裸のままの奴がころがってゐて、若い娘が庖丁で骨を叩いてゐた。一人は一羽の頭を噛ったばかりでもう食はなかった。一人は一串と、頭の欠けたもう一串を平げた。

頭を食ったばかりの男は、その後食ひ足らなかったことを残念がって改めて食ひに行った。「あの時は酔ぱらってゐて、赤身のままの奴を見たので、つい変な気持がしたのだ。」と、その男は云ってゐた。

食べものの話が出た時、一人が鼠はおいしいと頻りに云ふので、鼠が食へるかねと相手が問ひ返すと、いや雀の間違ひだと笑った。

ある女が信仰の話から輪廻思想まで説き出すと、二人の男は遽かにはしゃぎ出した。

「死んだら君は雀になり給へ。」

「いや、願はくば君と一串にされて焼かれたいものだね。」

あいつも死んだら他の奴と一串にさされるのか——身体の調子が少し悪くて、新宿では雀を憐まなかった方の男が、窓から外を見てゐると、檜葉の樹に雀がゐた。

青空文庫情報

底本：「普及版　原民喜全集第一巻」芳賀書店
　　1966（昭和41）年2月15日初版発行
入力：蒋龍
校正：伊藤時也
2013年1月24日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

雀

原民喜

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/